

研修ニュース

〒518-0814 三重県伊賀市上友生 785 番地

TEL&FAX : 0595 (21) 8839

E-Mail : iga-ken@iga.ed.jp



研修講座 B-12 「授業改善に向けた校内研修」を実施しました！ 「授業研究の推進に向けて」

【講師】 三重県教育委員会事務局 研修企画・支援課 企画・支援班

研修主事 山田 雄亮さん

研修主事 矢田 清香さん

6月25日(火)、三重県教育委員会事務局研修企画・支援課 企画・支援班の研修主事である山田雄亮さんと矢田清香さんをお迎えし、「授業研究の推進に向けて」と題してご講義いただきました。

はじめに矢田さんより、授業研究に関わる八つの質問があり、自校の授業研究は、「主体的に学び合う組織的な授業研究となっているか」「個々の授業改善につながる授業研究となっているか」「軸があり、継続性がある授業研究となっているか」等について振り返りました。



次に山田さんより、協働的な事後検討会にしていくための視点や具体的な進め方についてご指導いただきました。以下に具体的な進め方についてまとめました。

【事後検討会の進め方】

- ①子どもの具体的な学びの姿から良かった点や改善点について話し合う。
- ②問い(課題)を立て、改善策のアイデアを出し合う。
- ③応用可能な言葉に概念化する。(他の状況でも応用できるよう一般化する)
- ④自分の授業の改善点について振り返る。(今後の授業改善にどう活かすか)
- ⑤全体で振り返り、共有する。



このように「授業研究→学びの具体化→学びの共有化→実践」といった学びのサイクルを持続的に行っていくことが個々の授業改善につながることを学びました。

これらの講義を受けて、グループで学びのサイクルを回すための有効な手立てや仕掛けについて交流を行い、自校の授業研究にどう生かしていくか考える機会となりました。今回の講義や演習から学んだことを取り入れながら、各校・園での授業研究や研修を進めていただければと思います。

アンケートより 【一部抜粋】

・グループでの事後検討の持ち方が大切であると感じました。子どもたちの姿から学校として取り組まないといけない課題を共有し、次の研究授業までに取り組むことが、授業改善にもつながっていくと思いました。どうしても研究授業をして、おしまいになってしまうので、いつも意識して取り組んでいきたいと思っています。(小)

・校内研修のあり方について見つめ直すことができました。研修に対して先生方それぞれでモチベーションが違う中、全員を巻き込んでいくためにはどうすればいいか悩みながら1学期を進めてきましたが、2学期、同じ目標に向かい、全員が授業改善していくために授業研究のサイクルを大切にやっていこうと思います。まず、2学期から公開授業を進めていき、全校で取り組みたいと思います。(中)